

# 北谷町 地域学校協働活動

## 地域学校協働活動本部名

北谷町地域学校協働本部  
小学校4校  
(北谷小学校、北玉小学校、浜川小学校、北谷第二小学校)  
中学校2校  
(北谷中学校、桑江中学校)

## 活動の概要

### ◆代表的・特徴的な活動

- 地域未来塾(学習支援、プログラミング教室、サマースクール)
- 漢字検定試験監督・見守り
- 授業補助(習字学習、家庭科ミシン補助)
- 授業の通訳サポート(日本語通訳)
- キャリア教育「グッジョブ!夢スクール」を実施
- 総合の授業を学年委員会と協働で人権・多様性を学ぶ「パステルアート」体験
- 読み聞かせ
- 朝の交通安全見守り
- 平和学習(ピースフルフューチャーによる講話)
- 運動会(青年会によるエイサー指導及び運動会当日の地謡サポート)
- 環境整備支援(校内の花壇の手入れ、水かけ、草刈り、苗植えなど)
- お箏の先生を招いてお箏体験授業(4年生)



(平和学習)



(中学生による絵画教室)

### ◆工夫していること

- 生徒前面を推し進め、生徒会とタイアップしながらイベントやボランティア活動を自主的活動として行う雰囲気が高まってきている。
- 未来塾では徹底した個別指導で生徒のわからないところを中心に自学自習へとつなげている。
- 月に一回の定例会で各学校と情報交換を行い、生徒の実態に合った協働活動を推進している。(エイサー指導や自治会との連携活動等)
- 地域の老人会や保育所(幼児)・児童館との交流授業を行い、世代交流を図っている。
- 気になる生徒は担任の先生へ連絡、相談。生徒への声掛けにより生徒とのコミュニケーションが増えた。



(地域の方による面接指導)

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 地域未来塾:学習支援を中心に自学自習のサポートを行っている。中学校においては、検定試験前はその対策を中心に行ったり、3年生は入試問題を意識させながら資料等を提供し、生徒が自発的に学習できる環境を整え指導に当たっている。
- 多様な学習支援員によるサポートを受けることで、宿題や定期テスト前の学習に向けての利用が増えた。
- 各自治会の老人会や近隣の保育園生との交流、また中学3年生の面接指導における各企業の方との触れ合いが会話の幅を広げ、座学以外の楽しさ・大切さを感じることができた。
- ☆部活動を優先する2年生の参加が少ない。対応策として、夏休みの夏期講習のスケジュールを部活生に合わせ、多くの生徒に未来塾の良さを体験してもらう。(中学校)
- ☆ボランティア活動等をする大人が、どのイベントにおいてもほぼ同一人物になってしまう為、今後は学校に関わりやすい環境づくりをすることが必要だと感じる。

# 北中城村 地域学校協働活動

## 地域学校協働活動本部名

北中城村地域学校協働本部  
(北中城中学校 北中城小学校 島袋小学校)

## 活動の概要

読み聞かせサークルの25周年記念事業(北中城小学校)



(読み聞かせサークルを立ち上げたメンバー等)



平和学習(島袋小学校・北中城中学校)

(読み聞かせメンバー、地域の戦争体験者の話)

キャリア教育支援(北中城中学校)

(役場・地域の方による面接指導)

ドリームウォールペンキ塗り(北中城小学校)

(児童の夢を書く板へのペンキ塗り)

裁縫・ミシン・調理実習補助(島袋小学校)

(家庭科授業の補助に、父母や地域の方が協力)

個別学習支援(北中城中学校)



(地域の方、学生による個別の支援)

バスの運転(北中城中学校)

(合唱コンクール、吹奏楽等 生徒の送迎)

### ◆工夫していること

- 3人のコーディネーターの協力体制
- 村内各種団体との連携
- ボランティアを依頼しやすい雰囲気作り
- 担当教員との連絡調整をしっかりと行うこと
- 気持ちよくボランティアに参加してもらえるようしっかりと声かけをする。

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【本部】村内各種団体とのスムーズな連携ができた
- 【学校】個別の学習支援で個々のレベルの指導ができ、学習意欲が向上
- 【本部】役場職員が面接練習にかかわり続けていることで、学校と役場のかかわりができた
- ☆【本部】活動内容の周知(広報活動)
- 【推進】生き生きとボランティアに参加する方々から元気もらえる

# 中城村 地域学校協働活動

## 地域学校協働活動本部名

- ・中城中学校地域学校協働活動本部
- ・中城小学校地域学校協働活動本部
- ・津覇小学校地域学校協働活動本部
- ・中城南小学校地域学校協働活動本部

## 活動の概要

- ・中城城跡に関する学習・見学ガイド
- ・平和学習(中城小・津覇小・中城南小)
- ・バスの運転手(中城小・津覇小・中城南小)
- ・クラブ活動指導(中城小・津覇小・中城南小)
- ・職業人講話(津覇小学校・中城中学校)
- ・高校入試面接体験(中城中)



職業人講話(農業指導員)



平和学習講話(小学校)

### ◆工夫していること

1. 地域コーディネーターを各小中学校に配置し、学校と地域、支援員との円滑な連携・情報共有を図っている。
2. 2週に1回程度、担当職員・地域コーディネーターミーティングを実施、各学校活動の状況や課題といった情報共有に努めている。
3. 地域コーディネータが定期的に自治会を訪問し、地域との連携推進を図っている。また、地域行事への児童生徒の参加について、地域と学校の協力を推進している。

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 定期的なミーティングで地域コーディネーターと担当職員が現状や課題を共有することで、課題の改善や調整などをスムーズに行うことができている。  
また、自治会と連携を図ることで、児童生徒の地域活動への参加、地域人材の掘り起こしにつながっている。
- 地域人材が支援員として学校活動に関わることで、課外授業やクラブ活動の幅が広がり、また児童生徒が地域の人たちを知り、地域で育てられている意識につながっている。
- ☆活動の継続のためには、若い年代層の参加を促進していく必要がある。

# 西原町 地域学校協働活動

## 地域学校協働活動本部名

西原町地域学校協働本部事業

(坂田小学校、西原小学校、西原東小学校、西原南小学校、西原中学校、西原東中学校)

## 活動の概要

- ・授業内容に沿った外部講師を招いての授業  
(パトラン西原とゴミ(星屑拾い)分別授業、ホテルスタッフによるマナー講座等)
- ・高校入試に向けた模擬面接指導
- ・生徒のかなまる活動(地域行事などへのボランティア活動)
- ・校内敷地塗装(舗装材料および運搬は地元業者へ提供協力依頼)
- ・読み聞かせ
- ・朝ドリルの丸付けボランティア
- ・環境美化ボランティア
- ・毎朝の立哨ボランティア

調理実習  
(西原東中学校)



生活標語看板回収  
(西原東小学校)



生き物の授業  
(西原南小学校)



### ◆工夫していること

- ・SNSを活用しボランティア募集
- ・ボランティアさんが気持ちよく活動できるように、気配りをしている。
- ・授業等の講師は、担任のリクエストに近い方を呼べるように授業の内容を詳しく聴く。
- ・生徒のかなまる活動(地域行事などへボランティア活動)を通し地域とつなぐ。
- ・学校の要望と地元業者等とのつなぎ(校内敷地舗装)
- ・OGやOB、自治会や民生委員等へ声掛けし、ボランティアを募集している。



読み聞かせボランティア  
(西原東中学校)

## 成果・効果・課題

- 総合的な学習の時間に外部の講師の方と面接実践を図ることで、受験に向けて面接マナーや自信を持たせる機会となっている。
- 朝ドリル(ボランティア)は児童に頑張っているという応援の言葉をたくさん声掛けしてもらい、やる気や自己肯定感を育む助けになっている。また、丸付けボランティアは保護者が多く参加するので、ボランティア後に交流できる場所を設けることにより、保護者間のコミュニケーションが取れている。
- 美化活動により、常に校内の緑がきれいに整備されている。
- 立哨は地域の方の善意で、児童の安全が守られている。
- 校内敷地舗装について、地元業者や地域自治会から無償で砂利の提供・運搬等の協力が得られ実施に向けて前進した。
- 学校協働、学校支援の理解が深まっている。
- ☆新しいボランティアを増やしたい。継続するために常に探している状況。予算が足りない。

# 与那原町 地域学校協働活動

## 地域学校協働活動本部名

与那原町地域学校協働本部

小学校2校(与那原小学校、与那原東小学校)

中学校1校(与那原中学校)

## 活動の概要

### 【小学校】

- ・綱曳講話
- ・パッカー車見学
- ・田植え及び収穫、収穫後の稲藁贈呈式
- ・ミシン指導
- ・福祉講話/福祉体験
- ・平和学習
- ・園芸ボランティア
- ・クラブ活動



(折り紙クラブ)



(パッカー車見学)

### 【中学校】

- ・「与那原大綱曳」に向けて事前指導
- ・メーモーイ・金鼓隊講話
- ・職業人講話



(「与那原大綱曳」に向けて事前指導)

### ◆工夫していること

- ・地域の方とのつながりを作るために、町内学校や区長会等へ伺い挨拶をしている。
- ・近隣市町村のコーディネーターさんとの連携を図り情報交換を定期的に行うことで、良い例を参考に学校側へ提案や活動新聞を作成するなど、新たな試みをしている。
- ・職業人講話については、生徒のニーズを把握し、より興味の持てる講話になるように職業選定を行うなど工夫している。
- ・地域ボランティアの方々とは、年間を通してこまめに連絡を取り、事業実施時以外においても日頃から 何気ないコミュニケーションを大切にするとともに、SNS等を通じて活動状況の把握に努めている。

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【本部】事業が地域に浸透し、地域の方々から連携したい旨の連絡が3件あった。
- 【学校】地域の方々にご協力いただくことで、教職員のみでは対応が困難な授業についても、円滑に実施することができた。
- ☆【コーディネーター】チラシやSNSにより募集を行っているものの、依然としてボランティアが不足している活動があることから、今後は別の周知方法の検討を進める。

# 南風原町 地域学校協働活動

## 地域学校協働活動本部名

南風原町地域学校協働活動本部

小学校4校(南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校)

中学校2校(南風原中学校、南星中学校)

## 活動の概要

- 1 南風原中学校:産業や福祉など9つのテーマで地域の課題解決に取り組む1学年が、広告会社社員を講師に招き効果的なプレゼンテーション方法を学んだ。
- 2 南星中学校 :平和実行委員会は、平和を未来へ継承するため、南風原平和ガイド養成講座を受講しガイドを実施した。
- 3 南風原小学校:4学年は車いすで生活する方を招き、障がいの経緯や生活の様子等を学習し気づくことの大切さや、助け合うゆいまーの心を育むことができた。
- 4 津嘉山小学校:2学年は町たんけんで地域に出かけ人々に関わる活動を通して、地域に親しみや愛着をもち、自分達の生活との関わりを考える事ができた。
- 5 北丘小学校 :3学年の地域学習で、地域の方が制作した浦島・羽衣伝説の紙芝居を見てインタビューをし、地域の説について調べ学習に繋げることができた。
- 6 翔南小学校 :地域名人さんから[神里の獅子舞]について聞き、レプリカを見せてもらうことで児童が地域の歴史や行事について学習することができた。



1 南風原中学校



2 南星中学校



3 南風原小学校



4 津嘉山小学校



5 北丘小学校



6 翔南小学校

### ◆工夫していること

- ・年度初めに行う学校教職員、町内各種団体への「学校応援隊はえばる」事業説明。
- ・事業周知と広報活動(町広報誌掲載、壁新聞発行、事業報告書作成、活動写真展、PTA・大学・退職教諭の会へボランティア募集)
- ・事務局とコーディネーターの月例ミーティングの開催。
- ・学校とボランティアのニーズの把握とマッチングのための情報収集と共有。
- ・事前打ち合わせのオンライン会議、ボランティア募集やアンケート集計のロゴフォーム活用。
- ・長年ボランティア講師として活動している講師を町表彰へ推薦した。

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

○【学校】授業内容の充実と学習の深化。教師の資質向上と負担軽減。学校・家庭・地域の連携協力体制の構築

☆【学校】気軽に活用できる体制と手続きの簡略化

○【地域】学校理解の深まり。生きがい作りの場

○【コ】県や自治体の出前講座や講師派遣事業等の積極的な活用

島尻地区コーディネーター情報交換会や他地区の事例を参考にした取組

☆【コ】ボランティアの高齢化と新たな人材発掘

# 南大東村 地域学校協働活動

## 地域学校協働活動本部名

南大東小中学校地域学校協働本部

## 活動の概要

### <これまで>

本村の地域連携活動は、PTAを中心にこれまでも実施されており、様々な面で、幼児児童生徒に対する保護者・地域の伝統的支援活動として住民にも認知されている。

### <今年度>

今回の地域学校協働本部の活動として、最も力を入れていることは、児童生徒の安心安全な居場所の提供と地域人材の活用促進である。そのために、校内の空き施設を活用した「学童」と「学習支援センター」を併設し、各種活動を開始した。



(児童生徒対象  
放課後学習)



(児童対象  
「手芸教室」)



### ◆工夫していること

- ・実施前の打ち合わせ実施  
活動スケジュールや実施上の問題点、課題等スタッフの意思疎通を図る。
- ・定期的なスタッフ会議の実施  
スタッフ間の連携強化、効率的・効果的な活動補助の実現
- ・学校職員、教育委員会、コーディネーターとの定期的な会議実施  
成果・課題の確認と改善策の創出、参画意識の高揚へ

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【本部】学校内の空き施設を改修し、学習支援や放課後の居場所づくりが進んだことで、保護者のニーズ(参加児童保護者の9割が希望)に応えることができた。
- 【推】元の学習支援センターと学童合わせて学校敷地内に移動したことで安心安全が深まった。
- 【学校】放課後の安全安心な居場所が確保されたことで保護者の信頼度が高まった。

☆【コ】子どものニーズに対応した活動が十分に実施できていない。地域への周知、人材募集により、活動の広がりを目指したい。

# 八重瀬町 地域学校協働活動

## 地域学校協働活動本部名

八重瀬町地域学校協働本部  
(東風平中学校、具志頭中学校、東風平小学校、白川小学校、具志頭小学校、新城小学校)

## 活動の概要

### ◆代表的・特徴的な活動

#### ●講師の派遣

- ・クラブ活動指導員(新城小、具志頭小)
- ・平和学習講話(全小学校)
- ・職業インタビュー(東風平中)
- ・総合学習支援(全小学校)
- ・書道指導(東風平小、新城小、具志頭小)
- ・特別支援クラス運動遊び(新城小、具志頭小)
- ・民俗芸能講話(具志頭小、東風平小、白川小)
- ・野菜の植えつけ(具志頭小、新城小)



(民俗芸能獅子舞体験)

#### ●校外学習の訪問先調整

##### 【小学校】

- ・1年 生活科芋植え、芋ほり(新城小、具志頭小)
- ・2年 生活科まちたんけん(東風平小、白川小、具志頭小、新城小)
- ・3年 総合学習(東風平小)
- ・4年 総合学習(具志頭小)
- ・5年 総合学習(東風平小)
- ・6年 総合学習(具志頭小)



(福祉クラブの立ち上げ)

### ◆工夫していること

- ・地域の結びつきを図るべく、民生児童委員さんへ地域学校協働本部の事業を説明し協力を依頼した。
- ・運動会や伝統芸能を学ぶ授業では、区長さんへ声掛けし協力していただいた。
- ・地域学校協働本部の活動を先生方へ知ってもらうために、簡易的にポスターを作り張り出してもらった。

## 成果・効果・課題

○成果・効果 ☆課題 で分けて記入してください

- 【コ】社協、民生児童委員さんとの繋がりで協力してくれる方が増えた。
- 【コ】地域企業の協力があり、スムーズに見学活動や講話が執り行われた。
- 【コ】具志頭小学校にて福祉教育の充実を図る目的で、社協さんに協力してもらい、福祉クラブを立ち上げ、地域で孤立した方をボランティアとして活躍する場になった。(ボッチャ・アイマスク・車いす体験・ロービジョン体験・音訳体験など全6回実施)
- ☆【コ】講師派遣の際、学校職員の受け入れ態勢が整わずボランティアさんを孤立させている場合が多々ある。
- ☆【本部】コーディネーターの人員確保と新たなボランティア人材の発掘が課題である。